

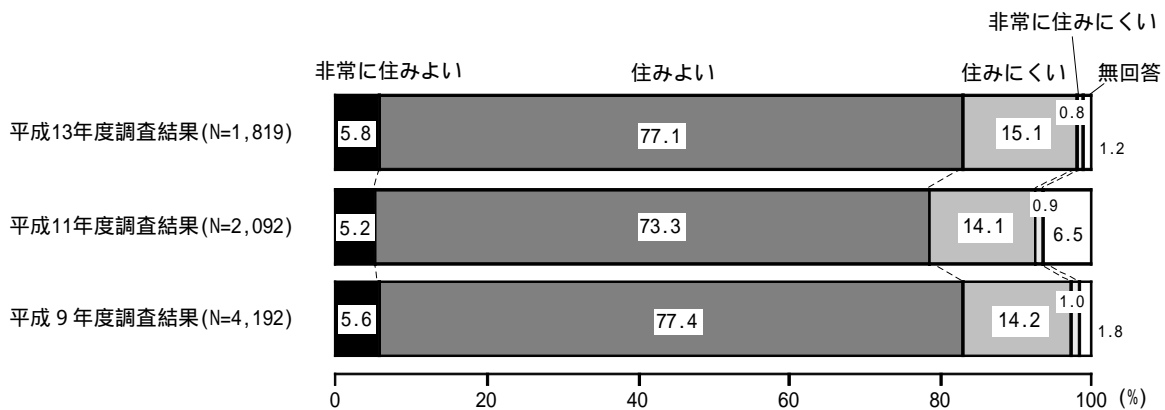
1. 市に対する全体評価

1 - 1. 住みやすさ評価

全体の約8割が市を住みよいと評価

問1. あなたは、加古川市が住みよい所であると思いますか。それとも住みにくい所であると思いますか。(は1つだけ)

【図1 - 1 住みやすさ評価(年度別)】



加古川市に対する住みやすさの評価は、「住みよい」が77.1%と最も多く、「非常に住みよい」5.8%を合わせると(以下、『住みよい』とする)全体の82.9%が加古川市を住みよいまちであると評価している。

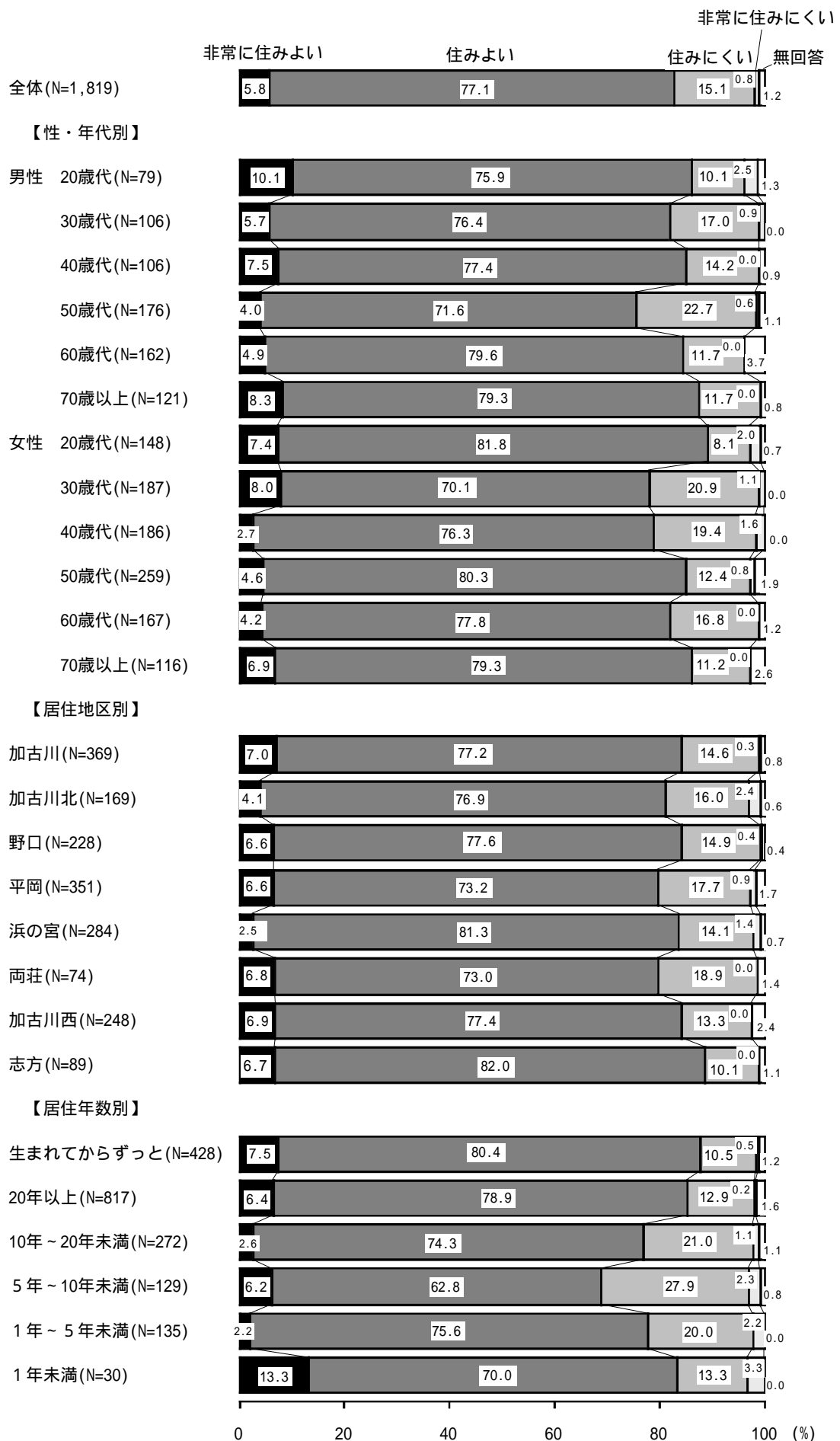
また、過去3年間の調査結果と比較すると、『住みよい』とする人の割合は平成11年度調査の78.5%より4.4ポイント高くなっている。(図1 - 1)

性・年代別にみると、男女とも、いずれの年代においても『住みよい』とする人の割合が8割から9割を占め、男性では70歳以上で87.6%、女性では20歳代で89.2%と最も高くなっている。一方、『住みにくい』とする人の割合(「非常に住みにくい」「住みにくい」を合わせた値)は、男性では50歳代で23.3%、女性では30歳代で22.0%と最も高くなっている。(図1 - 1 - 1)

居住地区別にみると、いずれの地区においても『住みよい』とする人の割合が8割から9割を占め、志方地区で88.7%と最も高くなっている。一方、『住みにくい』とする人の割合は、両荘、平岡、加古川北地区で約19%と他の地区に比べて高くなっている。(図1 - 1 - 1)

居住年数別にみると、いずれも『住みよい』とする人の割合が7割から9割を占め、生まれてからずっとという人で87.9%と最も高くなっている。一方、『住みにくい』とする人の割合は5年~10年未満の人で30.2%と最も高く、1年未満~20年未満の人の方が20年以上の人より住みにくいと感じている人が多くなっている。(図1 - 1 - 1)

【図1 - 1 - 1 性・年代別、居住地区別、居住年数別 住みやすさ評価】

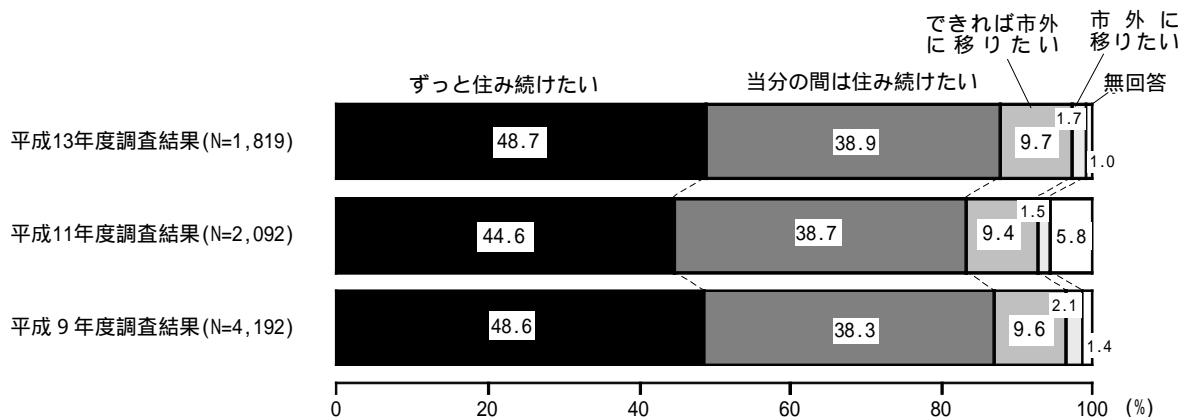


1 - 2 . 定住意向

全体の約9割が市への定住意向をもっている

問2 . あなたは、これからも加古川市に住み続けたいと思いますか。(は1つだけ)

【図1 - 2 定住意向(年度別)】



加古川市への定住意向については、「ずっと住み続けたい」が48.7%と最も多く、「当分の間は住み続けたい」38.9%を合わせると(以下、『住み続けたい』とする)全体の87.6%が市への定住意向をもっている。

また、過去3年間の調査結果と比較すると、住み続けたい人の割合は平成11年度調査の83.3%より4.3ポイント高くなっている。(図1 - 2)

性・年代別にみると、男女とも、いずれの年代においても『住み続けたい』とする人の割合が8割から9割を占め、男女ともに60歳代の割合(男性:93.8%、女性:90.5%)が最も高く、同回答の割合は、男女とも年代が上がるにつれて高くなる傾向にある。一方、『市外に移りたい』とする人(「市外に移りたい」「できれば市外に移りたい」を合わせた値)の割合は、男性では30歳代が14.1%、女性では20歳代が16.3%と最も高く、同回答の割合は、男女とも年代が上がるにつれて低くなる傾向にある。(図1 - 2 - 1)

居住地区別にみると、いずれの地区においても『住み続けたい』とする人の割合が9割前後を占め、特に志方、両荘地区で9割強と高くなっている。一方、『市外に移りたい』とする人の割合は、平岡、浜の宮地区で他の地区に比べて高くなっている。(図1 - 2 - 1)

居住年数別にみると、いずれも『住み続けたい』とする人の割合が8割から9割を占め、生まれてからずっとという人で93.0%と最も高くなっている。一方、『市外に移りたい』とする人の割合は、1年~10年未満の人で2割強と高く、居住年数が長いほど定住意向が強い傾向がある。(図1 - 2 - 1)

【図 1 - 2 - 1 性・年代別、居住地区別、居住年数別 定住意向】

